

- ・コンペ形式とプロジェクト形式の発注の流れの違いについて  
仮払いのタイミングが異なるので把握しておいたほうがよい。
  - ▶プロジェクト形式の場合、仕事の依頼→応募者から選定→契約→仮払い→納品
  - ▶コンペ形式の場合、仕事の依頼→仮払い→提案から選定→納品
- ・コンペ形式の場合には、募集をかける時点で仮払いを行う必要があり、  
仮払い後の契約金額の増額は基本的に不可。
- ・コンペ形式の場合には、提案保証人数が設定されている。  
契約金額に応じて提案保証人数が変わるため、金額と保証人数を確認しておくことは必要。  
提案が1件も発生しない場合には、仮払いが返金されるが、  
提案保証人数以上の提案があった場合、返金がされない。  
なので、金額を抑えて依頼をかけると提案保証人数も少なくなり、  
応募の中からいざれかを採用しなければならない。  
提案に対して修正を依頼する期間が設けられているので、その期間を利用する。
- ・提案保証人数が決定する条件は、クラウドワークス、ランサーズで異なるので注意が必要。  
クラウドワークス：契約金額によって決まる  
ランサーズ：金額以外にも条件あり  
[http://www.lancers.jp/help/faq/order/what\\_guarantee](http://www.lancers.jp/help/faq/order/what_guarantee)
- ・コンペ形式でも複数の提案を受けることが可能だが、追加の料金が発生する。